



平成19年2月7日

各位

会社名 グランディハウス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 福田 晃
 (コード番号：8999 東証第二部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 齋藤 淳夫
 (TEL. 028-650-7777)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年10月10日に公表しました平成19年3月期（平成18年4月1日～平成19年3月31日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせ致します。

記

1. 平成19年3月期 連結業績予想の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	24,500	3,800	2,200
今回修正予想 (B)	22,700	3,200	1,820
増減額 (B-A)	△ 1,800	△ 600	△ 380
増減率 (%)	△ 7.3	△ 15.8	△ 17.3
(ご参考) 前期（平成18年3月期）実績	24,047	3,038	1,766

2. 平成19年3月期 単独業績予想の修正（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	24,200	3,700	2,150
今回修正予想 (B)	22,100	3,100	1,770
増減額 (B-A)	△ 2,100	△ 600	△ 380
増減率 (%)	△ 8.7	△ 16.2	△ 17.7
(ご参考) 前期（平成18年3月期）実績	23,835	2,939	1,707

3. 修正の理由

経済環境は概ね緩やかな回復基調で推移しておりますが、新設住宅着工件数は、貸家系が増加基調にあるものの持家系は横ばいで推移しており、当社の営業基盤である栃木県においては、回復の兆しはみられるものの、平成18年4月以降の累計で前年を下回る状況が続いております。

このような中、当社グループでは、主力事業である戸建住宅販売事業に加え土地分譲事業等の拡大を図り、第3四半期（平成18年4月1日～平成18年12月31日）では平成18年10月10日に発表した業績予想に沿った業績を概ね確保することができました。

しかしながら、上記の受注環境ならびに当期の売上に寄与する物件の受注状況等を総合的に勘案し、当期（通期）の業績予想を修正することと致しました。

(注記事項)

上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上